

中野区議会だより

No. 244 平成28年(2016年)4月24日

編集・発行／中野区議会

〒164-8501 中野区中野4-8-1
(区議会事務局) 電話3228-5585 FAX3228-5693
(中野区大代表) 電話3389-1111
Eメール kugikaijimu@city.tokyo-nakano.lg.jp
ホームページ http://kugikai-nakano.jp/

南台いちよう公園・本五ふれあい公園開園



左は2月27日に開園した南台いちよう公園、右は3月19日に開園した本五ふれあい公園

第1回定例会

平成28年度予算を可決

一般会計当初予算は1283億1200万円 前年比3・3%減

区議会は第1回定例会で、平成28年度予算を原案どおり可決しました。
また、「中野区スポーツ推進条例」などの区長提出60議案及び、議員提出3議案を可決しました。

選挙管理委員 決まる

区議会は、2月17日の本会議で、3月2日に任期満了の選挙管理委員及び同補充員の選挙を行い、次の方々を選出しました。任期は平成32年3月2日までです。

◆選挙管理委員◆

江口 清三郎 (えぐち せいざぶろう)
佐伯 利昭 (さえぎ としあき)
手塚 憲三 (てづか けんざう)
吉原 宏 (よしはら ひろし)

◆選挙管理委員補充員◆

北郷 秀文 (きたこう ひでふみ)
飯島 謹一 (いじま きんいち)
斉藤 睦 (さいとう むつみ)
能津 恵子 (のづけいこ)

また、4件の議員提出議案を審議し、そのうち1件を全会一致で、2件を賛成多数で可決し、1件を否決しました。

この定例会では、平成27年度補正予算、平成28年度当初予算など、計60件の区長提出議案を審議しました。そのうち、「中野区スポーツ推進条例」など39件を全会一致で、21件を賛成多数で可決しました。

第1回定例会は2月17日から3月25日まで開かれました。2月17日に区長の所信表明を行い、2月19日から3日間20人の議員が区政課題について、一般質問を行いました。

この定例会では、平成27年度補正予算、平成28年度当初予算など、計60件の区長提出議案を審議しました。

そのうち、「中野区スポーツ推進条例」など39件を全会一致で、21件を賛成多数で可決しました。

また、4件の議員提出議案を審議し、そのうち1件を全会一致で、2件を賛成多数で可決し、1件を否決しました。

予算審議の状況

平成28年度の一般会計、

用地特別会計、国民健康保険事業特別会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計の各会計当初予算案は、全議員を構成員とする予算特別委員会に付託されました。

予算特別委員会では、はじめに、21人の議員が予算全体の総括質疑を行った後、総務、区民、厚生、建設、子ども文教の5つの分科会で分野ごとに審査を行い、その後、全体会で採決を行いました。

3月10日の本会議では、委員会での審査経過を報告した後、採決を行い、すべての予算を賛成多数で可決しました。

予算の審議にあたり、次の議員が討論を行いました。

一般会計

◆賛成討論

高橋 かずちか (自民)
平山 英明 (公明)

◆反対討論

羽鳥 だいすけ (共産)

各会計予算額

(対前年度伸び率)

■一般会計	1,283億1,200万円	(△3.3%)
■用地特別会計	18億9,900万円	(△74.3%)
■国民健康保険事業特別会計	405億3,700万円	(1.0%)
■後期高齢者医療特別会計	65億5,600万円	(0.0%)
■介護保険特別会計	217億1,300万円	(△1.8%)

主な掲載記事

区政をただす	2～5面
予算を問う	6～9面
予算に対する各会派の見解	10面
可決した議案	11面
可決した意見書	12面
陳情の審議結果	12面

第1回
定例会

区政をただす

一般質問

新しい中野をつくる

10か年計画を問う

自由民主党議員団

大内 しんじ



①今回、改定の目玉となる重点事項は。②10か年計画に基本構想は「区民の共通目標」とあるが具体的な内容は。

区長

①妊娠・出産・育児と切れ目のない子育て支援

大和町中央通り沿道に適用される地区計画を問う

①まちづくりのルールとなる地区計画とその策定に伴い変更される都市計画の内容は。②沿道のまちづくりを進める

平和の森公園再整備に伴う

財政的負担の軽減を図れ

公明党議員団

南 かつひこ



①平和の森公園再整備では、準工業地域である未開園部分に体育館を建設するため、用途地域の変更や特例許可が必要という利点があるが、東京都下水道局の下水処理施設予定地の地上部分に建設することの区にとっての利点は。②国家公務員宿舎跡地を公園拡張予定地としているが、解体に伴う財政負担の対応は。

区長

①施工上の利点は、付帯工事が大幅に減り、作業ヤードなど公園部分への影響を最小限に止めることが見込

成年後見制度に十分な取り組みを

①認知症高齢者が増加傾向

が、説明する機会を設けると聞いている。

平和の森公園に新体育館を早期に開設せよ

誘導策と中央通りを安全な避難路とする支援策を、同時に施行すると聞くが内容は。③今後の地域への周知は。

区長

①地区計画では、健全なにぎわいが創出される建物利用を誘導するための制限等から成っている。都市計画では、近隣商業地域を沿道から30メートルに拡大し、防火地域に指定する等から成っている。②建物の更新を支援し、災害時に延焼遮断帯として機能するため、都市防災不燃化促進事業を導入予定である。③大和町まちづくりの会

区長

①スポーツの中心的な場所を整備することは、大変重要であり、早期開設へ努力を重ねたい。②事前キャンプの誘致を検討中であり、個別の国との調整等、さまざまな可能性を追求する。

があるが、区における成年後見制度への取り組みは不十分である。周知・啓発に力を入れるべきでは。②区独自で市民後見人養成講座を実施すべきと考えるが、今後の計画は。

区長

①社会福祉協議会と連携し制度や相談窓口の周知を行ってきたが、今後も認知症の啓発活動の中で周知を図っていききたい。②28年度、社会福祉協議会に委託し、基礎講習や、実地体験講座などの実施を予定している。

区長

学校施設の防火・防煙シャッターに安全装置を設置せよ

①他自治体の公立小学校で起きたシャッター事故報道を受け、区立小中学校の総点検

施設の売却より

区民利用を図れ

日本共産党議員団

長沢 和彦



10か年計画(第3次)(改定素案)には、商工会館、中野区保健所移転後跡地、温暖化対策推進オフィス、旧常葉少年自然の家売却が記されているが、どれも区民福祉向上のための施設であり、今後の活用を含めた検証・検討が大切である。たとえば温暖化対策推進オフィスでは、貸し付け事業者が変わったことでまったく別な事業となり、区の目標と取り組みも行われず売却が決定している。区は売却より区民施策の活用を検討し、区民利用を図るべきでは。

公契約条例の制定を

公務・公共サービスの品質確保と事業者相互間と労働者相互間の公正競争の実現を目的とした公契約条例の制定が全国に広がっている。公共事業や民間委託などが増加しているなか、公的サービスの質と地域住民の安心・安全を確保しつつ、労働者には住民から喜ばれる働きがいと人間らしい暮らしの確立を保障するこの条例の制定を視野に検討会を立ち上げ、公契約適正化フィスは、維持管理費や更新

子育ての負担を

広く社会化せよ

民主党議員団

森 たかゆき



区長は施設方針説明の中で、「育てやすい」から「生みたくなる」への取組の強化を図る」と述べているが、違和感がある。「生みたいと思った時に生める」環境整備に注力すべきである。出生率向上に必要なことは、子育てにかかわる負担を広く社会化していくことではないか。

区長

地域社会全体で子どもの育ちと子育てを支援することが大切であるという考え方に立ち、子ども・子育て支援事業計画を策定し、取り

の課題に取り組むべきでは。

区長 適正な労働条件や賃金支払いの保障は、労働基準法や最低賃金法などの法体系により守られるべきであり、条例制定の考えはない。

財政自治権の拡充を進めよ

財政調整交付金は、28年度歳入案の27・3%を占めるが、都との協議によるためきわめて不安定である。また、本来、市町村税である都市計画税は、都が徴収し、都市計画交付金として支給されるが、特別区の都市計画事業費が税収の3割程度である一方、支給額が税収の9%前後にすぎない。都に対し財政自治権の拡充を本気で求め、議会や区民とともに運動していくべきでは。

区長

財政調整制度や都市計画交付金の割合について

近な場所に子育てひろばを整備していく。②保育施設における医療的ケアの実施は、集団保育が可能な場合であり、個々の児童に応じた専任スタッフの配置や育成等、適切な保育態勢や設備を充分整えてから実施する。

区長

既存施設を有効活用せよ

①施設の統合や廃止を進めていく際、交通のあり方と施設のあり方をリンクして考えるべきでは。②資産の有効活用という点では、既存施設の有効活用も検討すべきでは。

区長

①交通利便性や利用圏域の中心部からの距離、公共交通機関の近接度など、施設利用者のアクセス面につ

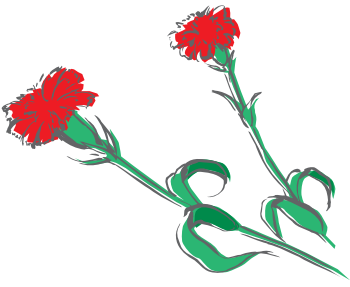
は毎年協議しており、区長会としても働きかけている。

大規模開発に偏重した基金積立と予算編成を改めよ

10か年計画(第3次)(改定素案)にある10年間の財政フレームでは、基金積立総額が第2次計画に比べ1・8倍となるなど、中野駅周辺の大規模開発により財政規模や基金積立が膨らんでいる。まちづくり基金の原資は大半が一般財源であり、28年度予算案も大規模開発に偏重しているため、改めるべきでは。

区長

まちづくり基金は中野駅周辺のまちづくりやまちの活性化により、区民の暮らしを豊かにするものである。



災害時避難行動

要支援者支援を問う

自由民主党議員団

篠 国昭



災害時避難行動要支援者に対する①訪問調査の進捗状況は。②個別避難支援計画の作成状況と支援者の確保は。③支援計画の町会等への情報提供に同意している。

区長

①災害時避難行動要支援者名簿に登録した要介護認定者など約3万人のうち、27年度は1万人を対象に訪問調査を進めている。1月末時点での進捗状況は、7割弱、約6800人である。②要支援者本人の入院・入所や同居家族がいることを理由に、個別の避難支援計画の作成を要しない方を除いた約3700人のうち、6割弱について

不適正な事業系廃棄物の排出行為を根絶せよ

区は事業系廃棄物収集届出制度を導入した。有料ごみ処理券を添付しない、不適正な排出行為による区の収入への影響額は年間約5億円にのぼると推計されている。公平性を欠く、事業者の不適正な排出行為をどのように根絶できると考えているのか。

区長

4月から届け出内

中野のまちづくりを問う

公明党議員団

小林

ぜんいち



①区役所・サンプラザ地区再整備におけるアーリーナの施設計画は、早い段階から専門家の導入を図り、コスト抑制と利益の出る施設やリスクの少ない計画を検討すべきでは。②再整備を進めていくうえでは、土地と建物床を手く活用し事業を成立させる事が重要と考えるが、どのような手法で進めていくのか。

区長

①事業構築パートナーからの提案を参考にしながら、再整備実施方針の検討を進めてきた。②公共基盤の整備とともに公的財産の確実な運用を行うため、区画整理事業や市街地再開発事業など法定の面整備事業の適用を検討している。③一定のまとまりをもって、権利者等から其同化に対する要望があげられる地区については、具体的に話し合いを進めていく。

学校再編について問う

日本共産党議員団

広川

まさのり



容の確認及び有料ごみ処理券の添付指導に着手し、5月以降、未届け事業者に対し訪問調査を実施し、有料ごみ処理券の添付徹底と適正排出に向け全力で取り組んでいく。

子どもの体力向上を目指せ

中野区の体力調査結果は、全国でも低い状況にある東京都の平均も下回るが、体力向上にどのように取り組むのか。特に中学校では特段の目標設定が求められるがどうか。

教育長

体力調査の低い水準項目を重点目標とし、各校が目標を設定し、計画的に取り組むとともに、中学校では一校一取組により運動機会の少ない生徒にも運動の場を提供し、運動の日常化に向けた取り組みの充実を図っていく。

区長

4月から届け出内

空家対策を問う

①空家及び将来空家になる恐れのある建物相談や、管理者が区外に住んでいる場合の継続的な見守り支援は、防犯・災害対策上必要と考える。「住宅相談アドバイザー」をワンストップで建築展開のできる専門家に依頼してはどうか。

区長

②まちの中へリノベーションの新たな潮流を作っていくことが、今後のまちづくりでは大事である。空店舗・空家の利活用を積極的に行い、乳幼児から高齢者、障害者等への施設へリノベーションし、住環境の向上を図るべきでは。

区長

①区内の建築や不動産等の関係者・団体の協力

社会保険未加入対策を進めよ

民主党議員団

ひやま

隆



社会保険に加入すべき社会等が負担を逃れるため、違法に社会保険に加入していない事例が問題となっている。①26年度の国民健康保険料の滞納者のうち、給与等の支払い実績が確認できたのは26年度で約6千人だった。資格適正化を目的とし、そのうち400人の勤務先に対し社会保険加入の有無の調査を行った結果、約300人が社会保険に加入していたが、残りの約100人の加入は確認できなかった。②26年度中に財産差し押さえ

区長

①国民健康保険料滞納者のうち、給与支払い実績が確認できたのは26年度で約6千人だった。資格適正化を目的とし、そのうち400人の勤務先に対し社会保険加入の有無の調査を行った結果、約300人が社会保険に加入していたが、残りの約100人の加入は確認できなかった。②26年度中に財産差し押さえ

商店街の活性化を支援せよ

①高崎市の商店リニューアル助成事業のように店舗等の改装などに助成し発注先を地元業者に限定して、地域でお金が循環するようにしては。②区内商店がどのような支援を求めているか調査しては。③他自治体でも効果を発揮している商店リニューアル助成事業の導入を検討しては。

区長

①状況が違うため、同じような助成制度の導入は考えていない。②個店への助成制度の実施予定がないため、その事前調査は必要ないと考える。③商店街全体の機能を高めたりにぎわいを創出する事業について、商店街向けに助成を行っている。

区議会各会派のEメールアドレス

自由民主党議員団

jimintou.nakanokugikai@mbn.nifty.com

公明党議員団

kugidan@nakano-komei.net

日本共産党議員団

jcp.nakanokugidan@mbn.nifty.com

民主党議員団

n.minshu@mbr.nifty.com

ご利用ください

●声の区議会だより

目の不自由な方のため、区議会だよりを朗読録音したCD・デジ版CD「声の区議会だより」を発行しています。郵送により無料で貸し出しします。利用をご希望の方は、区議会事務局（電話3228-5585）まで。視覚障害者の方へお知らせください。

率の維持などから、一定の成果があったと認識している。②任意事業を新たに実施する予定はないが、都区共同事業や都の相談窓口への案内等の支援を行っている。

平成28年度予算編成を問う

自由民主党議員団

伊藤 正信



①地方消費税交付金は、大きく伸びたが、歳入の根幹となる特別区税や特別区交付金は、多少の伸びとなっている。区は、28年度の景気動向や税制の影響をどう見積もったのか。②扶助費は必要な社会保障経費だが、この伸びは財政運営に大きく影響を与え、心配でもある。今年度の伸びをどう把握し、推計したのか。③特定財源の繰入金は、各事業の目的基金の繰り入れと考える。28年度に充てる事業は、

区長 ①特別区民税は、平均所得増等による約4億円増とふるさと納税の影響等による約3億円減から約1億円

地域包括ケアシステムの取り組みを推進せよ

①区は、ひとり暮らし高齢者世帯や高齢者のみ世帯が多い特性があるが、実態と他地域との比較は。②地域包括ケアシステムは、地域で支援が

平和の森公園の再整備構想を問う

公明党議員団

甲田 ゆり子



再整備構想(案)について①拡充された草地広場は乳幼児などが自由に楽しめるスペースとなるのか。②ソーラー式の園内灯を増やすなど明るく安全に散策できるようにするほか、子どもたちが自然に親しめるよう整備し、地域に広く愛されるよう愛称をつけては。③体育館竣工が東京オリンピック・パラリンピック開催と重なることを活かし、区内外に中野の歴史文化を発信し、青少年の交流を促進するイベントなど企画しては。

子育て支援に対する考え方を示せ

子育て支援にかかわる方の理解と協力を得るため、子育て支援に対する方針が今後の

必要な人を支える取り組みをどう行うかで、将来、地域での生活に大きな差が出ると思われる。区には、町会自治会による見守り、支えあい活動や区医師会等による医療・介護が連携した取り組みがあり、他の地域に比較して活発に行われている。区はこうした土壌を生かし、リーダーシップをとる必要がある。今後の連携体制を強化しては。

区長 ①5年前と比較して、ひとり暮らし高齢者数は、10・5%、高齢者のみ世帯数は、5・3%増となっている。高齢化率は、23区平均より若干低いが、後期高齢者の割合が高い等の特徴がある。②28年度から医療・介護の連携推進等を一括して担当する分野を新設して体制を強化する。

区長 ①5年前と比較して、ひとり暮らし高齢者数は、10・5%、高齢者のみ世帯数は、5・3%増となっている。高齢化率は、23区平均より若干低いが、後期高齢者の割合が高い等の特徴がある。②28年度から医療・介護の連携推進等を一括して担当する分野を新設して体制を強化する。

施策にどう活かされるか具体的なロードマップで示しては。

区長 事業内容や詳細なスケジュールを個別に示し、区民の理解と協力を得ながら推進していきたい。

「食」を通じた子育て支援を

子どもを支える地域社会の実現に向け、子ども食堂を切り口に地域の資源をつなぎ合わせる仕組みづくりをしては。

区長 支援者の関心や動機を的確に捉え、コーディネートできる体制を整備していきたい。

多子世帯を支援せよ

子育て世帯を増やすために、保育園の送り迎えをサポート

区民の将来の生活像を明確にし、建て替えを促進せよ

自由民主党議員団

高橋 かずちか



民間建築物の建て替えの促進における、具体的な制度の検討についての見解は。

区長 区の基本的な考え方を示しながら、有効な制度の構築について検討したい。

区営住宅の今後のあり方を問う

①区営住宅の建て替えにあたっては、敷地を最大限有効活用すべきでは。②低層階の地域への提供、貸し出しで、維持管理に必要な財源の一部を確保できるのではないか。

区長 ①区営住宅の集約化など、さまざまな手法を検討していく。②法的には難し

いが、民間活力をどのように活かすか、検討していく。

地域の防犯力向上のために防犯カメラの設置を拡充せよ

防犯カメラのさらなる増設、空白ゾーンが生じている状況にどう対処していくのか。

区長 現行の補助制度をさらに周知することにより、設置の促進を図りたい。

ユニバーサルデザインを推進せよ

①ユニバーサルデザイン条例の制定に際し、新たな関係団体の提言・意見を取り入れてはどうか。②中野区版施設

整備マニュアルを策定する考えはあるか。

区長 ①さまざまな方々の意見交換等を検討し、視点の取り入れを行っていく。②同マニュアルの策定についても検討したい。

災害対応能力を充実させよ

①現在の本庁舎に、災害対策関係部署間が連絡調整を行うスペースを確保し、意思疎通を図る必要があるのではないか。②災害対策本部の開設をマニュアルに明記し、訓練と同時に課題を洗い出していくべきではないか。

区長 ①防災センターのあり方を検討していきたい。②訓練の実施などを通じて習熟を図るとともに、機能強化に向けて検討していきたい。

施設整備に向けた基金を創設せよ

自由民主党議員団

若林 しげお



予算書などでは財政調整基金の積立額がわかるだけで、年度間調整や施設整備についてどのくらいの予定で積み立てを行っているかわからない。「公共施設総合管理計画」を進めていく上で財源確保は重要であり、成果が見え計画を立てやすくするためにも、特定目的基金をつくるなどの工夫をすべきではないか。

区長 施設整備について

は、国庫補助金や起債、義務教育施設整備基金など各特定目的基金が利用できる施設に

スポーツ環境の整備を進めよ

①地域スポーツクラブの法人化は難しいと判断したとの

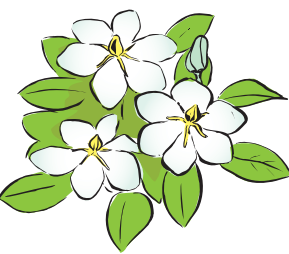
特別委員会報告 1 区役所及び体育館整備調査特別委員会



区役所及び体育館整備調査特別委員会は、平成27年5月22日に設置されました。写真は、杉並区大宮前体育館の視察の様子です。

区議会だよりへのご意見、ご要望などは、区議会事務局まで

TEL 64-8501 中野区中野4-8-1
電話 6486-1500 FAX 6486-1506
Eメール kugikaijinu@city.tokyo-nakano.lg.jp



子ども食堂を支援せよ

無所属 むとう 有子



①自発的な支えあい活動により貧困状況で暮らす子どもに困らんの場と食事を提供する子ども食堂への支援制度を新設しては。②区は、生活困窮世帯の子どもたちに学習支援事業を実施している。これに食事提供事業を加えては。

区長 ①新たな制度を設ける考えはない。②食事の提供支援を加える考えはない。

子どもの居場所を確保せよ

無所属 近藤 さみ子



①かつて中野区は、放課後、小学生を学校内の学童クラブにとどめておくことは成長過程に問題があるとの配慮から児童館を整備してきた。児童館を廃止すると、小学生が雨の日でも遊べる居場所が学校だけとなる。子どもたちの成長過程や健全育成についても考慮しているのか。②U18プラザが廃止されても、現在の

児童館のような施設を学校以外に残すべきではないか。**区長** ①キッズ・プラザ事業は、地域や学校と連携して運営する児童健全育成事業である。放課後の校庭や体育館を利用し、活動の幅を広げていく。②キッズ・プラザでは、児童館と同様に、引き続き地域の力、支え手の協力を得ながら、充実を図っていく。

エンディングノートの活用で高齢者の終活支援を推進せよ

無所属 いながき じゅん子



一人暮らしで身寄りのない、あるいは親族がいてもさまざまな事情で頼ることができない高齢者が増え、事前に身の整理や準備を行う終活が課題となっている。①誰もが安心して最期を迎えられる終活支援の充実が必要では。②延命治療やリビングウィルなど終末期医療について考え行動するきっかけ作りにも、エン

ディングノートを配布し活用、法講座を実施してはどうか。**区長** ①中野区社会福祉協議会のあんしんサポート事業の活用を促したり、必要なサポート制度について研究し、実現を図っていききたい。②区が直接配布することは考えていないが、終末期や死後の準備の大切さについては、周知普及を図っていききたい。

多様性にあふれた中野のまちづくりを進めよ

無所属 石坂 わたる



ユニバーサルデザイン推進条例には障がい、高齢、女性、性的マイノリティ、人種・外国人に関する取り組みが含まれるか。また、難病や加齢に伴う病気を抱えた人、特別永住者、外国人と日本人との間に生まれた子も含まれるか。**区長** ユニバーサルデザインのまちづくりは、列挙をされた方など多様な区民や来

街者を想定している。**若年性認知症者や高齢者の居場所確保を** 若年性認知症者や高齢者への支援として、能力に合わせた働ける居場所を保障しては。②軽度認知症や高次脳機能障害の人などが、能力を活かしながら活動できる場所の具体策を検討したい。

U18プラザ及び児童館の廃止計画の見直しと撤回を

無所属 小宮山 たかし



区はU18プラザや児童館を廃止し、新しく地域の子育て支援活動を展開するスクラップ&ビルドの考え方を公表しているが、今の計画ではスクラップにしかならず、区が掲げる切れ目のない子育て支援に逆行することを危惧する。計画の見直しと撤回を求める

区長 廃止の考え方や今後の展開について、地域や関係団体などと意見交換を行い、案をまとめていきたい。**学校跡地を文化芸術拠点に** 再編後の学校跡地は、地域コミュニティや、文化芸術の拠点として活用してはどうか。**区長** 10か年計画(第3次)の改定案案において活用

生活保護ホットラインを導入せよ

無所属 渡辺 たけし



中野区がホットラインを導入しないのであれば私が窓口となり生活保護制度の適正化を図りたいと考えている。ホットラインを導入している自治体のほぼ全ては、首長主導のもとケースワーカー不足の中、制度の信頼性維持と適正化を図りたいとの考えから成果を出している。区の見解は。

区長 区は課税・年金情報等の照会による所得状況の把握等を基本に、不正受給の未然防止に取り組んでいる。ホットラインを導入した自治体では保護の停止や廃止に至るなど一定の効果はあると認識している。都内で行う場合の区民の反応などを見極める必要もあり、今後、他自治体の成果や動向を参考に導入できるかさらに検討したい。

防犯カメラを増設し空白地帯の解消を図れ

無所属 内野 大二郎



杉並区は、相当数の防犯カメラで侵入窃盗犯を激減させている。中野区では、平成20年度以降、区の助成事業を利用して、商店街、町会、防災会などが自主的に防犯カメラを多数設置している。①区は、その設置箇所やカメラの性能について把握をしているのか。②設置台数の少ない地域については区が直接設置し、防犯

カメラの「空白地帯」をできるだけ小さくすべきでは。**区長** ①区の補助により設置された、250台近くの防犯カメラの設置箇所については把握しているが、性能までは把握していない。②地域の防犯カメラについては、有用性や補助制度の周知を行い、町会・自治会等による設置の促進をさらに図っていききたい。

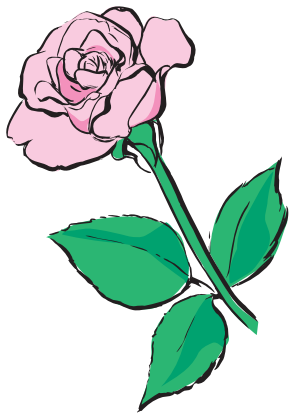
子どもたちが自由に遊べる外遊びの場の確保を

無所属 細野 かよこ



子どもの発育に外遊びは欠かせない。①校庭など利用制限の多い場所ではなく、自主的に創意工夫を凝らし遊べる場の確保が必要と思うがいかがか。②「冒険遊び場」は、自分の責任で自由に遊ぶことをモットーに禁止事項を極力少なくした外遊び事業で、区内では唯一上高田公園で実施されている。この事業をさ

らに増やしていくことが望ましいと考ええるが区の考えは。**区長** ①今後キッズ・プラザで、校庭や体育館を活用した自主性を発揮できるプログラムを充実させていきたい。②現在、区民団体に委託し放課後子ども教室を実施している。今後も多くの団体に働きかけ、事業の質的・量的充実を図っていききたい。



中野区議会定例会(一般質問)をテレビ放送しています

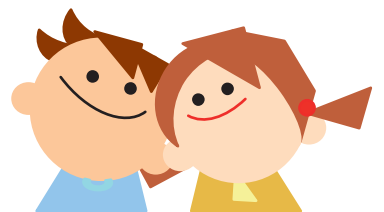
中野区議会では、ジェイコム中野で、議会のテレビ放送を行っています。内容は、各議員の一般質問などの録画放送です。放送予定などは、決まり次第、中野区議会ホームページに掲載します。ぜひご覧ください。

中野区議会定例会(一般質問)をインターネットでご覧いただけます

中野区議会のホームページから、定例会の一般質問をインターネットで録画配信しています。ぜひ、ご覧ください。

みんなでみてね「中野区議会」キッズページ

中野区議会ホームページのキッズページでは、議会のしくみをわかりやすく説明しています。ホームページの「わたしたちの中野区議会」の中に掲載しています。どうぞご利用ください。



★中野区議会ホームページURL

<http://kugikai-nakano.jp/>

【問合せ】区議会事務局
(電話3228-5585)

平成
28年度

予

算

を

問

う



総括質疑

予算特別委員会

予算特別委員会では、2月26日、29日、3月1日、2日の4日間、21人の議員が予算全般について質疑を行いました。

中野駅西側南北通路及び橋上駅舎実施計画



自由民主党議員団

内川 和久

手していきたい。

中野中学校跡地の利活用

問 2020年までの完成が想定されていた中野駅西側南北通路及び橋上駅舎の実施計画が、28年度予算から削除されたのはなぜか。

答 基本設計の進捗に伴い、供用開始が困難であることが判明したためである。

中野区版ふるさと納税

問 実施計画予算が減額補正され、債務負担行為も廃止されたが、今後の計画の見通しが立っていないということか。

答 現在検討中の区役所・サンプラザ地区再整備方針との整合を図りながら、速やかに計画を整理し、実施設計に着

問 「中野にふさわしい寄附のあり方」とはどのようなものか。いわゆる返礼品付きの中野区版ふるさと納税なのか。

答 歴史景観の保存や社会貢献活動に資するものなど、区独自の目的に沿った寄附について今後具体的に検討したい。

鷺宮地域のまちづくり



公明党議員団

久保 りか

問 西武新宿線野方以西の連続立体交差事業の進捗状況と、当事業への区の決意は。

答 連続立体交差事業の新規事業化について、野方駅から井荻駅間が社会資本総合整備計画に位置付けられた。沿線一帯のまちの改善が重要であり、全力でまちづくりや踏切り、渋滞解消に取り組んでいく。

問 野方等に先んじて鷺宮の検討会を設立するのはなぜか。

答 課題が多い地区で東京都や住宅供給公社などまちづくりの関係機関も多いため、先行して検討を進める。

食品ロス削減の取り組み

問 食品ロスについて学ぶ機会として、区内の調理や栄養専門学校との協力を得てイベントを開催してはどうか。

答 エコクッキングなどの取

西武新宿線連続立体交差事業

問 東京都議会における答弁で「西武新宿線野方駅から井荻駅間を社会資本総合整備計画に位置付ける」とあるが、この予定化は。

答 野方駅から井荻駅間がこの計画に位置付けられることで、連続立体交差事業の実現に向けた新たな一歩となる。



子ども・若者支援

問 低所得世帯の子どもに対する学習支援事業を継続的にを行い、充実していくべきでは。

答 平成28年度は中学生は受け入れ数を300名とし、会場も1か所から2か所へ増やした。小学生も1会場増やし5会場で行う予定であり、今後も着実に推進していきたい。

問 子ども・若者への切れ目のない支援には全庁的な体制が必要ではないか。

答 教育や福祉、保健、医療、

財政運営と基金活用



日本共産党議員団

浦野 さとみ

れたが、保護者や園に対しニーズ調査は行ったのか。

答 行っていない。

問 ひがしなかの幼稚園における、特別な支援を必要とする児童の入園数の推移は。

答 25年度7名、26年度12名、27年度13名である。

平和の森公園再整備構想案

問 樹木移植により防火樹林としての役割はどうなるのか。

答 防火機能も果たす植生計画に努めたい。

問 陸上競技トラックはどのような使用を想定しているか。

答 陸上競技等で活用する際は、占用を想定している。

問 誰でも自由に、安全に使える現状を保てるのか。

答 安全性等を配慮した運用について検討したい。

店舗や自宅等の落書き除去

問 消去の支援を検討しては。他区の事例等調査したい。

答

タブレット型
携帯端末等の試行を実施中です

中野区議会では、省資源化の取り組みの一環として、本会議及び委員会において、タブレット型携帯端末等の試行を実施しています。



民主党議員団
酒井 たくや

平成28年度予算

問 区の基幹収入である特別区民税の収納率の向上のため、29年度から特別徴収推進を図るとのことだが、影響額は。

答 税収効果として、約2億7800万円を見込んでいる。

問 特別区民税に、3億円の減収の影響を及ぼす、ふるさと納税は看過できない。今後の影響と区の対策は。

答 区の基幹財源である特別区民税の税収に大きな影響を及ぼすと予想されるため、今後の実施に向け有効な仕組みを検討したい。

問 特別区交付金のうち、特別交付金の当初予算と決算との乖離が大きい。当初予算を増額するべきではないか。

答 現在の考えを継続する。特別交付金の交付額が23区で下位である。獲得の工夫をすべきでは。

問 特別交付金の確保については、より一層努力する。

問 特定財源の確保と新規事業を展開する際の既存事業見直し等が、区の予算編成方針に沿っていないところも散見される。改めて庁内共有を図るべきでは。

答 庁内で共有し、PDCAサイクルに基づき検証すること、持続可能な財政運営を



自由民主党議員団
市川 みのる

中野二丁目地区まちづくり

問 千光前通り沿道地区では、どのような地区計画がふさわしいと考えているか。

答 街並み誘導型地区計画の活用が考えられる。

問 中野二丁目を取り囲んでいる道路のうち、千光前通りだけ片道通行で幅の狭いままであるが、拡幅できないのか。

答 地域の特性や周辺のまちづくり動向を踏まえた検討が必要と考えている。

問 千光前通り沿道やファミリーロード沿道のまちづくりでは、要望書が提出されるなど機運が盛りあがっているが、どのようなまちづくりを進め

問 千光前通り沿道やファミリーロード沿道のまちづくりでは、要望書が提出されるなど機運が盛りあがっているが、どのようなまちづくりを進め

より一層推進し、将来に向けて着実に歩みを進めていく。

問 今後10年間で職員一千人が入れ替わる。戦略を持って職員採用・人材育成・研修に取り組むべきでは。

答 就職説明会の回数増や、政策形成能力を養う研修等も充実して取り組んでいきたい。

区立幼稚園廃園

問 区立幼稚園廃園は幼児教育の充実には繋がらず、保幼小連携の観点からも疑問が残る。区立幼稚園のニーズも十分にある。保護者が心配する、特に配慮が必要な子どもへの対応は。

答 補助制度の活用により、私立幼稚園等においても受け入れを進めていく。

問 再開発事業は住民を追い出すのではなく、生活再建となるよう地権者の気持ちをしつかり酌んで着実に進めるべきと考えるがどうか。

答 地域の機運醸成などを適切に捉え進めていきたい。

問 再開発事業は住民を追い出すのではなく、生活再建となるよう地権者の気持ちをしつかり酌んで着実に進めるべきと考えるがどうか。

答 地域の機運醸成などを適切に捉え進めていきたい。

問 再開発事業は住民を追い出すのではなく、生活再建となるよう地権者の気持ちをしつかり酌んで着実に進めるべきと考えるがどうか。

答 地域の機運醸成などを適切に捉え進めていきたい。

問 再開発事業は住民を追い出すのではなく、生活再建となるよう地権者の気持ちをしつかり酌んで着実に進めるべきと考えるがどうか。

答 地域の機運醸成などを適切に捉え進めていきたい。

問 再開発事業は住民を追い出すのではなく、生活再建となるよう地権者の気持ちをしつかり酌んで着実に進めるべきと考えるがどうか。

答 地域の機運醸成などを適切に捉え進めていきたい。

問 再開発事業は住民を追い出すのではなく、生活再建となるよう地権者の気持ちをしつかり酌んで着実に進めるべきと考えるがどうか。

答 地域の機運醸成などを適切に捉え進めていきたい。

問 再開発事業は住民を追い出すのではなく、生活再建となるよう地権者の気持ちをしつかり酌んで着実に進めるべきと考えるがどうか。

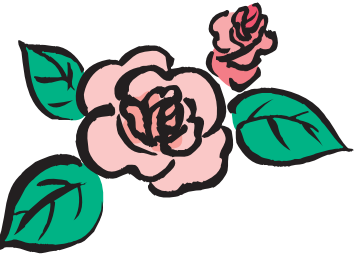
答 地域の機運醸成などを適切に捉え進めていきたい。

問 再開発事業は住民を追い出すのではなく、生活再建となるよう地権者の気持ちをしつかり酌んで着実に進めるべきと考えるがどうか。

答 地域の機運醸成などを適切に捉え進めていきたい。

問 再開発事業は住民を追い出すのではなく、生活再建となるよう地権者の気持ちをしつかり酌んで着実に進めるべきと考えるがどうか。

答 地域の機運醸成などを適切に捉え進めていきたい。



公明党議員団
木村 広一

まち・ひと・しごと創生総合戦略

問 人口の将来推計から歳入歳出を見込むことで、将来的な財源の確保や基金の積み上げ方など検討しては。

答 将来を見据えた基金の積み立てと繰り入れについて、考えていきたい。

問 合計特殊出生率を2030年に1・38、2040年に1・65を目指すとしているが、希望的な観測ではなく、必ず達成する目標と考えてよいのか。

答 真正面から出生率の向上に取り組んでいきたい。

問 区民が寄付しやすい「ふるさと納税」制度が必要である。区に住んでいるインセンティブが感じられる制度を検討してはどうか。

答 再開発事業は住民を追い出すのではなく、生活再建となるよう地権者の気持ちをしつかり酌んで着実に進めるべきと考えるがどうか。

問 再開発事業は住民を追い出すのではなく、生活再建となるよう地権者の気持ちをしつかり酌んで着実に進めるべきと考えるがどうか。

答 地域の機運醸成などを適切に捉え進めていきたい。

問 再開発事業は住民を追い出すのではなく、生活再建となるよう地権者の気持ちをしつかり酌んで着実に進めるべきと考えるがどうか。

答 地域の機運醸成などを適切に捉え進めていきたい。

問 再開発事業は住民を追い出すのではなく、生活再建となるよう地権者の気持ちをしつかり酌んで着実に進めるべきと考えるがどうか。

答 地域の機運醸成などを適切に捉え進めていきたい。

問 再開発事業は住民を追い出すのではなく、生活再建となるよう地権者の気持ちをしつかり酌んで着実に進めるべきと考えるがどうか。

答 地域の機運醸成などを適切に捉え進めていきたい。

問 再開発事業は住民を追い出すのではなく、生活再建となるよう地権者の気持ちをしつかり酌んで着実に進めるべきと考えるがどうか。

答 地域の機運醸成などを適切に捉え進めていきたい。

問 再開発事業は住民を追い出すのではなく、生活再建となるよう地権者の気持ちをしつかり酌んで着実に進めるべきと考えるがどうか。

答 地域の機運醸成などを適切に捉え進めていきたい。

問 再開発事業は住民を追い出すのではなく、生活再建となるよう地権者の気持ちをしつかり酌んで着実に進めるべきと考えるがどうか。

答 地域の機運醸成などを適切に捉え進めていきたい。

問 再開発事業は住民を追い出すのではなく、生活再建となるよう地権者の気持ちをしつかり酌んで着実に進めるべきと考えるがどうか。

答 地域の機運醸成などを適切に捉え進めていきたい。

問 再開発事業は住民を追い出すのではなく、生活再建となるよう地権者の気持ちをしつかり酌んで着実に進めるべきと考えるがどうか。

答 地域の機運醸成などを適切に捉え進めていきたい。



日本共産党議員団
小杉 一男

国民健康保険

問 自営業を営む夫45歳、妻40歳、子ども10歳の家族で所得が360万円の場合、国民健康保険料は幾らになるのか。

答 平成27年度の基準では、年間約49万円となる。

問 区の試算によると、国民健康保険料のほかに、国民年金保険料37万4000円、所得税16万円、住民税26万6000円が加わると合計は129万円に上り、所得の36%を占める。こうした保険料が支

問 区の試算によると、国民健康保険料のほかに、国民年金保険料37万4000円、所得税16万円、住民税26万6000円が加わると合計は129万円に上り、所得の36%を占める。こうした保険料が支

問 区の試算によると、国民健康保険料のほかに、国民年金保険料37万4000円、所得税16万円、住民税26万6000円が加わると合計は129万円に上り、所得の36%を占める。こうした保険料が支

問 区の試算によると、国民健康保険料のほかに、国民年金保険料37万4000円、所得税16万円、住民税26万6000円が加わると合計は129万円に上り、所得の36%を占める。こうした保険料が支

問 神戸市では、利用者負担18万円で終身にわたり市内の民間賃貸住宅の連帯保証人となる事業を実施している。この事例を参考にして都と連帯保証の支援制度を検討しては。

答 他の自治体を参考に、新たな制度を検討したい。

問 見守りステッカー配付事業は、徘徊する高齢者等が利用することで、登録番号から人物が特定できる。安価で数や貼付場所の工夫の余地もあり、検討しては。

答 介護者の利便性や安全性などを踏まえ、検討する。

3歳児クラスへの転園

問 認証保育所から認可保育所等の3歳児クラスに移行できる人数は、確保できるのか。

答 計画的に整備を進めるとともに、多様な策を講じて、確実に転園できるよう努める。

問 差別解消法の施行を契機に、聞く学習や体験学習などに、障がい者理解をもう一歩進める福祉教育を、総合的な学習の時間でより多く実施するよう各学校に啓発してはどうか。

答 具体的な実施方法は、必要に応じて情報提供していく。

利用者目線のICT活用

問 区主催のイベントスケジュールを、ウェブカレンダーで利用できるようオープンデータ化してはどうか。

答 ウェブカレンダーについてはさまざまな形式があり、利便性の高まる提供方法について研究していきたい。

問 28年度に「ごみ分別アプリ」を導入予定だが、粗大ごみ回収日を忘れないように、また、回収コスト負担を抑えるためにも、アプリ内のカレンダーにリマインダー機能を付けるべきではないか。

答 カスタマイズ費用が相当程度かかるため、当初機能には盛り込んでいない。アプリ導入後、利用状況を見ながら、利便性向上に向けた機能の充実をさらに研究していきたい。

平成27年度行政評価

問 ネット中継など、外部評価委員会を多くの区民に関心を持ってもらう工夫をしては。

答 これまでも区報やフェイスブックの活用など、区民への周知に努めてきた。さらにICT等効果的な方法について検討していきたい。

問 ネット中継など、外部評価委員会を多くの区民に関心を持ってもらう工夫をしては。

答 これまでも区報やフェイスブックの活用など、区民への周知に努めてきた。さらにICT等効果的な方法について検討していきたい。

問 ネット中継など、外部評価委員会を多くの区民に関心を持ってもらう工夫をしては。

答 これまでも区報やフェイスブックの活用など、区民への周知に努めてきた。さらにICT等効果的な方法について検討していきたい。

問 ネット中継など、外部評価委員会を多くの区民に関心を持ってもらう工夫をしては。

答 これまでも区報やフェイスブックの活用など、区民への周知に努めてきた。さらにICT等効果的な方法について検討していきたい。

問 ネット中継など、外部評価委員会を多くの区民に関心を持ってもらう工夫をしては。

答 これまでも区報やフェイスブックの活用など、区民への周知に努めてきた。さらにICT等効果的な方法について検討していきたい。



民主党議員団
山本 たかし

子ども・若者の貧困対策

問 子どもの貧困が大きな問題となっている。また、子どもから連なる若者世代を含めた問題は、従来の個別分野の縦割りの対応では限界を迎えている。実情に応じた中野区子ども・若者計画を策定し、多くの団体との育成ネットワーク構築に向け動き出しては。

答 子ども・子育て支援事業計画の内容を踏まえ、計画策定について検討していきたい。

障がい者理解教育

問 差別解消法の施行を契機に、聞く学習や体験学習などに、障がい者理解をもう一歩進める福祉教育を、総合的な学習の時間でより多く実施するよう各学校に啓発してはどうか。

答 具体的な実施方法は、必要に応じて情報提供していく。

利用者目線のICT活用

問 区主催のイベントスケジュールを、ウェブカレンダーで利用できるようオープンデータ化してはどうか。

答 ウェブカレンダーについてはさまざまな形式があり、利便性の高まる提供方法について研究していきたい。

問 28年度に「ごみ分別アプリ」を導入予定だが、粗大ごみ回収日を忘れないように、また、回収コスト負担を抑えるためにも、アプリ内のカレンダーにリマインダー機能を付けるべきではないか。

答 カスタマイズ費用が相当程度かかるため、当初機能には盛り込んでいない。アプリ導入後、利用状況を見ながら、利便性向上に向けた機能の充実をさらに研究していきたい。

平成27年度行政評価

問 ネット中継など、外部評価委員会を多くの区民に関心を持ってもらう工夫をしては。

答 これまでも区報やフェイスブックの活用など、区民への周知に努めてきた。さらにICT等効果的な方法について検討していきたい。

問 ネット中継など、外部評価委員会を多くの区民に関心を持ってもらう工夫をしては。

答 これまでも区報やフェイスブックの活用など、区民への周知に努めてきた。さらにICT等効果的な方法について検討していきたい。

問 ネット中継など、外部評価委員会を多くの区民に関心を持ってもらう工夫をしては。

答 これまでも区報やフェイスブックの活用など、区民への周知に努めてきた。さらにICT等効果的な方法について検討していきたい。

問 ネット中継など、外部評価委員会を多くの区民に関心を持ってもらう工夫をしては。

答 これまでも区報やフェイスブックの活用など、区民への周知に努めてきた。さらにICT等効果的な方法について検討していきたい。

問 ネット中継など、外部評価委員会を多くの区民に関心を持ってもらう工夫をしては。

答 これまでも区報やフェイスブックの活用など、区民への周知に努めてきた。さらにICT等効果的な方法について検討していきたい。

問 ネット中継など、外部評価委員会を多くの区民に関心を持ってもらう工夫をしては。

答 これまでも区報やフェイスブックの活用など、区民への周知に努めてきた。さらにICT等効果的な方法について検討していきたい。

区議会を
傍聴してみませんか

本会議や委員会の傍聴は、どなたでもできます。

傍聴希望の方は、会議の当日、区議会事務局（区役所議会議棟3階）で傍聴の申し込みをしてください。受け付けは会議開会の1時間前から、入場は30分前からになります。本会議は定員100人、委員会は定員15人です。

なお、携帯電話など電子機器をお持ちの方は、必ず電源をお切りください。

【問合せ】区議会事務局
電話3228-18870



自由民主党議員団

加藤 たくま

区独自の民泊制度の制定

問 民泊(旅館業法外の宿)の増加で治安の悪化を招かぬよう適切な規制が必要である。管理人がいるホームステイ型の推進等、区独自の民泊制度を制定してはどうか。

答 中野の特性を生かした民泊施策を構築していきたい。

弥生町の防災まちづくり

問 川島町アパート跡地に整備する公園は、地域の行事を通じて、防災設備等を活用し



公明党議員団

日野 たかし

弥生町のまちづくり

問 弥生町三丁目周辺地区防災まちづくり計画における避難道路用地の買収にあたっては、地区外への引越しを望まない高齢者に対し、同じ地域で安心して生活ができるための取り組みを行っては。

答 既存の南台のまちづくり事業住宅をはじめ、例えば区営住宅活用の可能性や今後の状況を見ながら、UR都市機構や民間事業者などの主導による権利者賃貸住宅などの確保等を検討していきたい。

問 まちづくりに合わせて、川島商店街の活性化についても同時に行うべきでは。

答 商店街活性化支援策の情報等を適宜、積極的に提供し、防災まちづくりという側面か

た訓練の場として積極的に利用されることが重要では。

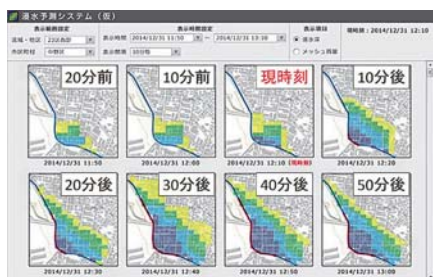
答 地域行事の際に、防災資機材の訓練を行うことは効果的であるため、進めていく。

問 権利者には余儀なく引越す方などの事例があるが、生活再建等の相談体制は。

答 全権利者に説明し、生活再建等も含めて対応している。

世界最先端水防システム構築

問 世界初のゲリラ豪雨予測技術により1時間後の浸水(危険区域)予測が可能とな



国土技術政策総合研究所より

った。区は、この情報を利用して防災、減災及び避難行動等の社会実験をするとしているが、この情報を生かすためのタイムライン(防災行動計画)の策定が必要では。

答 区や関係機関の確かな行動に効果があり、検討する。

らも支援していきたい。

区の情報セキュリティ対策

問 総務省は、情報セキュリティを脅かしたりする出来事が発生した際の対策として、把握、分析、被害拡大防止、復旧、再発防止等を迅速かつ的確に行うことを可能とする、CSIRTの体制づくりについて打ち出しているが、これに対しての区の考えは。

答 情報システム担当、業務改善担当、行政監理担当から成る、対応の体制を明確にしていきたい。

統合新校の校舎改築

問 学校再編により新校舎を改築する際には、他にはない特色ある学校にしてはどうか。

答 統合新校の校舎について

は、標準仕様をもとに、限られた財源の中で今後整備する。乳幼児親子の居場所

乳幼児親子の居場所

問 学校再編に伴い、学童クラブはキッズ・プラザに移管され、その後の児童館は廃止されると聞いている。現在児童館を利用して乳幼児親子支援を行っている団体の活動場所はどうなるのか。

答 子育てひろばについては、さまざまな場所、施設を活用しながら、また多様な事業の展開を図って、子育て支援活動の場としていきたい。

問 現状の児童館施設において、乳幼児親子が利用できるようにすることが最もよい方法と考えるが、どうか。

答 児童館の跡地利用については、今後の行政需要を十分に踏まえて、有効な活用の仕方を検討していきたい。



日本共産党議員団

いさ 哲郎

中野駅周辺のバリアフリー

問 視覚障がい者の利用が多いスマイルなかの、陽光園、産業振興センターまでの道路に点字ブロックが整備されていないが、すぐ行うべきでは。

答 中野駅から3施設へ至る歩道には視覚障害者誘導用ブロックを設置予定であり、産業振興センターへ至る道路で歩道がない部分は路側帯のカラー化等を予定している。

問 中野駅南口では音響信号のビーブ音がほとんど聞こえないが、改善すべきでは。

答 改めて警察へ音量を確認

問 条例を含めたヘイトスピーチ対策の具体的な議論を開始すべきでは。

答 ユニバーサルデザインのまちづくりの中で検討する。

地域図書館

問 本町と東中野の図書館統

するよう伝えたい。

ヘイトスピーチ問題

問 過去2回、中野駅北口でヘイトスピーチを行う団体が街頭宣伝を行ったことを、どう受け止めているか。

答 人権にかかわるものと認識している。

問 条例を含めたヘイトスピーチ対策の具体的な議論を開始すべきでは。

答 ユニバーサルデザインのまちづくりの中で検討する。



自由民主党議員団

佐野 れいじ

区の職員評価

問 区の職員評価の方法は。第一次評定を各分野の統括管理者による絶対評価の手法で行い、第二次評定を部長による相対評価で行っている。

答 評価の目的は職員にやりがい・生きがいを与えることにある。評価をすることが目的ではない。絶対評価と相対評価の2つで行うことに矛盾はないか。

答 2つの評価は目的が違う。絶対評価では結果を職員の育成・職務改善等に生かし、相対評価では処遇に反映させる。

問 第一次評定では、面接される者が多ければ80人、少ないければ3人と差がある。人数

答 28年度の空き家対策予算約2400万円の使途は。

答 5月以降に実施する空き家の実態調査委託費用と、8月以降設置予定の(仮称)空

「区議会だより」は各戸配布しています

区議会だよりは、各戸配布により区民のみなさまのお手元にお届けしています。また、区施設などでも手に入れることができます。ご利用ください。

【問合せ】区議会事務局 (電話3228-5585)

特別委員会報告 2

少子高齢化対策調査特別委員会



少子高齢化対策調査特別委員会は、平成27年5月22日に設置されました。写真は、地域包括ケアシステムの学習会の様子です。

問 木がうつそうとし、夜間の防犯上の問題が指摘されている部分を、多目的広場の再整備時に樹木を整理し、安全な公園空間をつくっては。

答 多目的広場の向上も含め、防犯対策として樹木剪定や移植の必要性など、未開園部分も活用しながら検討していく。

問 多目的広場や草地広場など既存公園部分の施工範囲を分割し、30年度開設を目標に検討していきたい。

答 多目的広場は、基本計画ができれば設計・工事にすぐに着手ができ、30年度には開設できるのでは。

問 提案の中に「アリーナ」という言葉が出てきた理由は。

答 ホール機能を中心とした再整備を行う際、これまで以上の集客と情報発信、多目的利用施設としてアリーナ形状のホールの可能性を検討してきたためである。

問 中野駅南北自由通路と新北口広場、区役所・サンプラザ地区整備の区の考えは。

答 庁舎移転後の平成34年度以降、事業・整備に着手することを目標とし、中野駅整備との整合を図っていきたい。

平和の森公園再整備計画

問 体育館は早期に開設することが望まれるが、そのための工夫は。

答 工期の短縮については、実施設計と施工を一括発注するなど工夫していきたい。

問 多目的広場は、基本計画ができれば設計・工事にすぐに着手ができ、30年度には開設できるのでは。

答 多目的広場は、基本計画ができれば設計・工事にすぐに着手ができ、30年度には開設できるのでは。

問 提案の中に「アリーナ」という言葉が出てきた理由は。

答 ホール機能を中心とした再整備を行う際、これまで以上の集客と情報発信、多目的利用施設としてアリーナ形状のホールの可能性を検討してきたためである。

問 中野駅南北自由通路と新北口広場、区役所・サンプラザ地区整備の区の考えは。

答 庁舎移転後の平成34年度以降、事業・整備に着手することを目標とし、中野駅整備との整合を図っていきたい。



自由民主党議員団

大内 しんご

区役所とサンプラザの一体再開発事業

問 事業構築パートナー選定経緯と、意見交換の回数は。

答 公募により三菱地所を代表企業とする業者と、野村不動産を代表とする業者を選定し、意見交換を3回行った。

問 提案の中に「アリーナ」という言葉が出てきた理由は。

答 ホール機能を中心とした再整備を行う際、これまで以上の集客と情報発信、多目的利用施設としてアリーナ形状のホールの可能性を検討してきたためである。

問 中野駅南北自由通路と新北口広場、区役所・サンプラザ地区整備の区の考えは。

答 庁舎移転後の平成34年度以降、事業・整備に着手することを目標とし、中野駅整備との整合を図っていきたい。

特別委員会報告 3

区内駅周辺等まちづくり調査特別委員会



区内駅周辺等まちづくり調査特別委員会は、平成27年5月22日に設置されました。写真は、新井薬師前駅及び沼袋駅周辺の視察の様子です。

出生率の向上

問 出生率の目標を立て「育てやすい」から「生みたくなる」への取り組みを強化するとしているが、区民に分かりやすい施策を示すべきでは。

答 子育て、教育の充実に加え、住宅の誘導やワーク・ライフ・バランスの推進など、施策を横断的に展開していく。

地域の育成活動の充実

問 区として今後さらに、子育て支援に力を入れるのであれば、政策助成制度は、区民の活動を支えられる申請額に見合う予算を確保すべきでは。

答 政策助成制度が公益活動の推進・地域課題の解決につながるよう改善し、予算の充実・重点化も今後検討したい。

公園機能の重点的強化

問 公園の利用法の検討と方針策定について、その内容は。

答 ボール遊びが出来る公園や健康づくり公園等、特色のある公園づくりと配置の検討を進め、方針を定めていく。

妊娠・出産支援

問 妊娠・出産相談はワンストップ対応となっているのか。

答 妊娠の届け出や母子手帳の交付など、すこやか福祉センターで夜間・土曜日も受け

自由民主党議員団
高橋 ちあき

質の高い保育の提供

問 保育施設における死亡事故の発生比率は、認可外施設が認可施設の30倍と圧倒的に高い。さいたま市は死亡事故を契機に事故防止策として抜き打ち立ち入り調査を実施し、成果を上げている。東京都の認可外保育施設立入調査結果で、改善指導を受けて改善せず

答 改善指導の徹底と抜き打ちによる立ち入り調査の実施を東京都に要望すべきでは。

問 認可施設は区が指導監督を行うことになった。子どもの命を守るためにも抜き打ち調査を実施すべきではないか。

答 実施する考えはない。

無所属
むとう 有子

地域スポーツクラブ

問 民間事業者に委託をするという方法では、地域住民が自発的に集い、身近な場所を拠点としてスポーツに親しむことで地域のコミュニティを推進し、健康・生きがいづくりを行うという本来の趣旨とかけ離れるのでは。

答 委託事業者や指定管理者は、

無所属
近藤 さえ子

U18プラザの廃止

問 全廃した場合、地域の子どものためのスペースはどのくらい減ることになるのか。

答 現行の3館と移行予定の児童館6館の延べ床面積は、約5000㎡である。

障がい児への支援

問 障がいのある幼児の受け入れ定員確保や支援策は。

答 私立幼稚園にも積極的な受け入れを要請し、新たな認定こども園では特別な配慮が必要な児童の一定数の受け入れを条件づける。

問 南部の障がい児施設は、中学・高校卒業時の進路を考

無所属
石坂 わたる

区立幼稚園の存続

問 重度障害児を受け入れる私立幼稚園が区内には一つもない。現段階で区立幼稚園がその役割を終えたとするのは拙速である。重度障害児の受け皿となっている区立幼稚園の廃園計画を見直すべきでは。

答 全ての児童がその児童に

無所属
小宮山 たかし

ネットワーク環境の見直し

問 庁舎など区施設の拠点間ネットワーク回線は、品質とコストのバランスが大切である。専用回線から一般家庭用の公衆回線への切り替えによりコスト削減を図れると考えるが、いかがか。

答 セキュリティ等、区が求める仕様や災害時の通信環境

無所属
渡辺 たけし

学校へのICT機器導入

問 小中学校の授業で使用する、タブレット端末の導入台数を増やす予定は。

答 小学校では来年度から1校あたり40台の導入を予定している。中学校に関しては今後検討したい。

新体育館の整備

問 性急に計画を推し進めず、東京オリンピック・パラリンピックの反動不景気に備える施設計画としてはどうか。

答 施設老朽化や区民が快適にスポーツを楽しむための整備環境が課題であり、建て替えの時期にきていることから、東京オリンピック・パラリン

無所属
内野 大三郎

区立幼稚園廃止の見直し

問 区立幼稚園の認定こども園への転換を、子ども・子育て事業支援計画に示したか。

答 示していない。

問 計画の初年度にこれだけ大きな転換があるのでは、この計画は何だったのかと思わざるを得ない。説明会は保護者からの要望に応じて開催し、

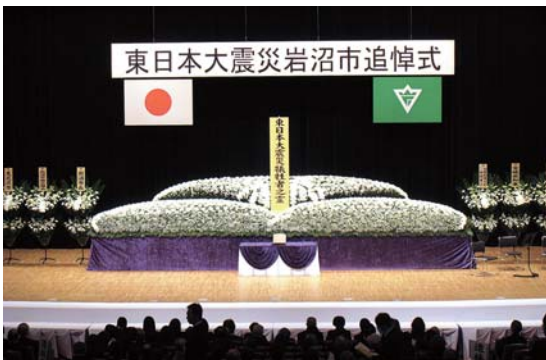
無所属
細野 かよこ

利用者本位の介護保険

問 新総合事業の開始が29年度になり、事業計画の策定と同時に多くの業務が集中する。利用者が不利益を被らないための対策は。

答 円滑な開始に向け28年度中に十分な準備を進めたい。

東日本大震災追悼式に参列しました



平成28年3月11日に、中野区議会を代表し、北原ともあき議長が「東日本大震災5周年亘理町合同追悼式」に、白井ひでふみ副議長が「東日本大震災岩沼市追悼式」にそれぞれ参列しました。

平成28年度予算に対する

各会派の見解

10年後の中野に責任ある予算編成

自由民主党議員団

我が国の経済は、第2次安倍政権発足以来緩やかに回復しております。デフレからの脱却に向け、引き続き力強い経済対策が求められます。昨今の混沌とした世界経済が日本経済の今後に与える影響は、決して楽観視できるものではありません。さらに、国内に目を向けますと、東京一極集中という理由から地方税の一部国税化が続けられております。23区にとって減収に繋がるものであり、地方分権の流れに逆らうものと考えます。

平成28年度当初予算額は1283億円余。アベノミクスの効果により特別区税が伸びた他、地方消費税交付金の増を見込み一般財源は増額しております。

す。また、「新しい中野をつくる10か年計画」(第3次)の初年度です。10年先の中野のまちに魅力を感じ、暮らしやまちの豊かさを現実させるための予算としました。

新規に着工を準備する区間として、社会資本総合整備計画に位置付ける野方駅・井荻駅間のまちづくり。また、老朽化した区内インフラの整備、中学校の改築等、基金への積み立てを計画的に行うと共に、財源の裏付けによる確かな事業計画を構築しなければなりません。持続可能な社会の実現に向け、自由民主党議員団は、与党第一党としての責任と自覚をもってこれからも区民と共に歩んで参ります。

将来を見通した着実な区政運営を

公明党議員団

平成28年度一般会計予算は前年度比3・3%減の1283億円余となった。歳入では特別区税と地方消費税交付金の増が見込まれる一方で、法人住民税一部国税化の影響による税収減、ふるさと納税など国策による区財政への影響も懸念される。東京都、特別区間の連携強化を図り、国に対し主張すべきは主張し、税外収入の確保など新たな取り組みも積極的に行うべきである。

歳出では、我が会派の求めてきた中野駅周辺まちづくりの拡充、西武新宿線沿線まちづくりの推進、大規模公園の整備、大和町、弥生町の防災まちづくりの推進、商店街の無線LAN環境整備、空家対策事業、子育てコンシエ

ルジュ配置や保育園、児童クラブ待機児童対策の充実、学校施設の特別教室冷房化、トイレ洋式化等の推進、学習支援事業の拡充、南部障害児通所支援施設開設等については高く評価する。一方、遅れを来した中野駅地区整備立ち上げを見送った地域包括ケアの取り組み等の重要な課題には適切に取り組むことを強く要望する。

28年度は新たな基本構想に基づく10か年計画第3次のスタートの年にあたる。区の転換期ともなる時期を迎え、60年先を見据えた施設配置のあり方や、少子高齢化が進む中で新たな行政ニーズに 대응していくための備えは必須であり、慎重な舵取りを期待したい。

基金積立と開発偏重予算からの転換を

日本共産党議員団

新年度の一般会計予算の特徴は、第一に、前年度に引き続き年度当初に94億円もの基金積立を行っております。ここ数年余り「財政は厳しい」と言いながら、基金残高は2015年度末には609億円を超える見込みです。

第二に、35億円もの税金を投入し、中野駅周辺の大規模開発事業に本格的に乗り出す予算となっております。今後、新区役所整備や区役所・サンプラザの一体開発などに、人も金も膨大に支出していくことになります。また、新体育館や陸上トラック整備、少年スポーツ広場の拡張等を施す平和の森公園再整備は、区民合意を得ずに、強引に進めていることも問題です。

第三に、国の失政により貧困と格差が拡大しているもとで、区民生活を支える施策が不十分である点です。福祉タクシー券とガソリン券の選択制の導入や中学生学習支援事業の拡大、重症心身障害児(者)在宅レスパイト事業開始などは評価できます。しかし、基金積立優先と開発偏重の予算を改めれば、区民生活の向上に資する施策の拡充を一層図ることができました。待機児童解消のための認可保育所の増設や教育負担の軽減、学校施設整備の拡充、障害者手当の創設・増額などの願いにも十分に込められたと考えます。

区が区民要求をきちんと反映した区政運営に取り組むことを強く求めます。

区民の声を受け止め応える区政を

民主党議員団

平成28年度予算は前年度比3・3%減の1283億1200万円となりました。個別の施策では、大規模公園整備など防災まちづくりや災害対策の充実、東日本大震災復興支援、習熟度に応じた学習支援の拡充、南部障害児通所支援施設整備、がん検診未受診者への受診勧奨の継続、事業系廃棄物収集届出制度の導入、保育士処遇改善や保育施設の増設は評価します。

生活保護費は増加傾向にあり、生活保護に至る前の自立支援施策の更なる拡充を求めます。また、貧困の連鎖を断ち切るため、区内の子どもや若者の貧困の実態把握が求められます。

中野駅周辺まちづくりや西武新宿線

沿線連続立体交差事業については、区民の利便性向上に向けた努力を期待します。新区役所整備にあたっては、公共施設の全体のあり方、資金調達のあるり方、整備スケジュールなどを明確にするよう求めます。

法人住民税の一部国税化・ふるさと納税など区財政の減収要因も注視していかねばなりません。今後10年で職員の半数が入れ替わる見込みの中、人事施策の一層の充実が必要です。

28年度は、改定された基本構想・10か年計画がスタートする一年となります。人口減少時代、持続可能な中野区政のため、財源の確保と区民満足の充実に努めます。

中野区内で特殊詐欺被害1億円以上！
電話での「お金」の話は、詐欺を疑いましょう！

不審な電話は110番！中野警察署03(5342)0110 野方警察署03(3386)0110

歳入歳出にそれぞれ96
65万3千円を追加し、予
算額は、1284億865
万3千円となりました。

議員提出議案

●意見書（3件）
（内容は次項に掲載）

議案に対する討論

議案の審議にあたり、次の議員が討論を行いました。

中野区基本構想

賛成討論

石坂 わたる（無所属）

反対討論

長沢 和彦（共産）

中野区家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例

賛成討論

石坂 わたる（無所属）

平成28年度中野区一般会計補正予算

反対討論

小杉 一男（共産）

（審議結果 可決）

第1回例会可決した
第1回意見書

◆児童虐待防止対策の抜本強化を求める意見書

政府においては、「児童虐待防止対策強化プロジェ

クト」で策定された施策の方向性を踏まえ、児童虐待の発生予防から発生時の迅速かつ的確な対応、自立支援に至るまでの一連の対策強化のため、早期に児童福祉法等改正案を国会に提出するとともに、下記の事項についても速やかに実施するよう強く要請します。

1 児童虐待の発生を予防し、妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援を実現するため、「子育て世代包括支援センター」を法定化し、全国展開を図ること。

また、孤立しがちな子育て家庭へのアウトリーチ支援を強化するため、子育ての不安や悩み等を抱える家庭への養育支援訪問事業や、ホームスタート（家庭訪問型子育て支援）事業を全ての自治体で実施できるようにすること。

2 児童相談所全国共通ダイヤル「189」の更なる周知を図るとともに、児童相談所につながるまでに数分かつている実態等を早急に見直し、通報しやすい体制を整えること。また、通報に対し、緊急性の判断や関係機関との連携を的確に行える体制整備にも努めること。

3 児童虐待が発生した場合、迅速かつ的確な初期対応が行われるよう、児童相談所の体制や専門性を抜本的に強化すること。特に児童福祉司、児童心理司、保

健師等をはじめ職員配置の充実、子どもの権利を擁護する観点等から弁護士を活用等を積極的に図ること。

4 学校や医療機関、警察等関係機関における早期発見と適切な対応を図るため、児童相談所と関係機関との間における緊密な連携体制を再構築すること。特に、警察と児童相談所において

は、虐待の通報を受けた場合、虐待の有無にかかわらず、情報共有を図ること。また、一時保護等において警察と児童相談所が共同対応する仕組みを全国で構築すること。

5 一時保護所における環境改善を早急を図るとともに、量的拡大を図ること。また、里親や養子縁組を推進し、家庭的養護のもとで子どもたちが安心して養育される環境を整えること。

6 被虐待児童について、18歳を超えても引き続き自立支援が受けられるようにするとともに、施設退所後や里親委託後の児童等に対しきめ細かなアフターケア事業を全国で実施すること。〈内閣総理大臣、総務大臣、法務大臣、文部科学大臣、厚生労働大臣、国家公安委員会委員長あて〉

◆軽減税率の円滑な導入に向け事業者支援の強化などを求める意見書

政府において平成27年度

陳情の
審議結果

第1回定例会における陳情の審議結果は、次のとおりです。

継続審査

《子ども文教委員会付託》
第4号陳情 区立幼稚園存続を願うことについて

第5号陳情 区立幼稚園の廃園案の検討について
第6号陳情 10カ年計画（第3次）改定素案において示している今後の認定こども園の整備について

第7号陳情 区立幼稚園の存在意義について再検討を願うことについて
第8号陳情 図書館再編の再検討について

《区内駅周辺等まちづくり調査特別委員会付託》
第2号陳情 中野駅前南口再開発計画を成功させる対応について。

今後の議会日程

現在予定されている議会日程は、次のとおりです。
●第2回定例会（予定）
6月6日～6月20日

●閉会中の委員会

総務委員会 5月9日
区民委員会 5月17日
厚生委員会 5月9日
建設委員会 5月9日
子ども文教委員会 5月16日
区役所及び体育館整備調査特別委員会

意見の分かれた案件（第1回定例会）

【○：賛成 ×：反対】

件名	会派名等 (議員数)	自 (12)	民 (9)	公 (7)	明 (7)	共 (7)	産 (7)	民 (5)	主 (5)	無所属 (8)	結果
平成28年度中野区一般会計予算		○	○	○	×	×	×	○	○	○×	可決
平成28年度中野区用地特別会計予算		○	○	○	×	×	×	○	○	○	可決
平成28年度中野区国民健康保険事業特別会計予算		○	○	○	×	×	×	○	○	○×	可決
平成28年度中野区後期高齢者医療特別会計予算		○	○	○	×	×	×	○	○	○×	可決
平成28年度中野区介護保険特別会計予算		○	○	○	×	×	×	○	○	○×	可決
中野区議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例		○	○	○	×	×	×	○	○	○×	可決
中野区行政委員会の委員及び非常勤の監査委員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例		○	○	○	×	×	×	○	○	○×	可決
中野区長等の給料等に関する条例の一部を改正する条例		○	○	○	×	×	×	○	○	○×	可決
中野区国民健康保険条例の一部を改正する条例		○	○	○	×	×	×	○	○	○×	可決
中野区中野福祉作業所条例の一部を改正する条例		○	○	○	×	×	×	○	○	○×	可決
中野区特定高架道路等に関する基準を緩和する条例		○	○	○	×	×	×	○	○	○×	可決
特別区道路線の認定について（中野三丁目14番から同地番まで、計3件）		○	○	○	×	×	×	○	○	○	可決
特別区道路線の認定について（中野四丁目82番から2番まで）		○	○	○	×	×	×	○	○	○×	可決
中野区保育所条例の一部を改正する条例		○	○	○	×	×	×	○	○	○×	可決
中野区基本構想		○	○	○	×	×	×	○	○	○×	可決
中野区中野駅西口地区における建築物の制限に関する条例		○	○	○	×	×	×	○	○	○	可決
中野区囲町地区における建築物の制限に関する条例		○	○	○	×	×	×	○	○	○	可決
中野区家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例		○	○	○	×	×	×	○	○	○×	可決
平成28年度中野区一般会計補正予算		○	○	○	×	×	×	○	○	○×	可決

※会派等の略称〔自民：自由民主党議員団、公明：公明党議員団、共産：日本共産党議員団、民主：民主党議員団、無所属：無所属議員〕
議員数は議長を除く。無所属議員については、会派と同様の扱いで掲載しています。

閉会中の
委員会の動き

平成28年1月～2月

総務委員会

1/29 報告5件を聴取
2/9 報告8件を聴取

区民委員会

2/1 報告8件を聴取

厚生委員会

1/29 報告12件を聴取

建設委員会

2/1 報告17件を聴取

子ども文教委員会

1/28 報告12件を聴取
2/4 報告1件を聴取

区役所及び体育館整備調査特別委員会

2/8 報告1件を聴取

少年高齢化対策調査特別委員会

1/21 柏市の長寿社会のまちづくりを視察

2/5 「地域包括ケアシステム」について学習会を開催、報告3件を聴取

区内駅周辺等まちづくり調査特別委員会

1/22 新井薬師前駅及び沼袋駅周辺を視察、報告3件を聴取

議会運営委員会

2/3 第1回定例会の日程などを協議

2/10 第1回定例会の招集日の確認や日程などを協議



議会日程は変更されることがあります。詳しくは、中野区議会ホームページまたは区議会事務局へ。